

(別紙4(2))

事業所名 磐田かつらぎの家

作成日: 平成 27年 9月15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	・家族等が面会時には積極的に意見を聴くように努力しているが、中々率直な意見、要望を正確的に聴取することは、時間等の関係もあって困難になっている。	・時間を労せず、率直な意見・要望を収集する為に、現在の、苦情箱の表示を改めて提案箱(意見箱)と表示を変更して意見収集に努める。	・現在、1号館(1F)にある「苦情箱」を表示変更して、提案箱(意見箱)に変更して、全館(1, 2, 3 F)に設置する。	1ヶ月
2	30 ~3 1	介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援しているが、看護師の記録簿が1号館で全館管理している。	・フロア毎に管理する体制に整備する。	・現在、1号館(1F)にある「医療連携体制加算」(訪問看護師記録簿)は当該館毎に設置して、逐一介護職も閲覧できるようにする。	1ヶ月
3	33	病気が重度化した場合については、日頃から家族との間で話し合いをしている。協力医の関係から医療機関への紹介が方針になっているが、突然急変するケースもあり、看取りの心構えが必要になっている。	・看取りの重要性を認識する上でも、全介護職に「看取り研修」内外研修の受講を目標とする。	・全ての介護職員に対して、「看取り研修」の必要性を認識させて、当該研修のスケジュールを策定し、実践する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。